

# 2014 年度活動報告<sup>1</sup> 交換授業：上級日本語演習

阿部 美恵子（関西学院大学日本語教育センター）

## 1. クラス概要

上級レベルの学生が対象で、春学期に一般授業を履修したい学生のための準備クラスという位置づけである。1週間に90分3コマ連続、5週間の集中授業である。2014年度は6名が履修した。日本語で開講される授業の聞き取り練習、クラスで課される課題達成のための資料収集、収集した資料を取捨選択して発表やレポートの執筆準備が行えるようにすることを目標としている。

## 2. 授業内容

社会問題についてのVTR（15～20分程度）を3つ視聴し、内容を確認した。各VTRに発表者を決め、発表者はVTRの内容を発展させたテーマでレジюмеを作成し、発表を行った。発表者以外はVTRの内容を元にしたレジюмеを2回作成することで、レジюме作成練習を計3回行った。また、2つのVTRについて意見文執筆を課した。3コマ連続の授業で、1コマ目は発表、2コマ目はVTR視聴と内容確認、3コマ目はPC教室でレジюме作成のための資料探しを行い、それと並行して提出されたレジюмеや意見文への個別フィードバックを行った。最終成果物として、VTRの内容を発展させたテーマで2000～3000字のレポートを執筆した。

## 3. 成果と今後の課題

昨年まで行っていた資料読解（ジグソーリーディング）をやめ、資料収集・レジюме作成（レジюмеの構成）を重視し、意見文執筆においても構成を意識した指導を行った。春学期から一般授業でレポートを書くことをみすえ、その際に役立ちそうな検索方法を指導した。4週しか実質的な指導ができる授業がない中で、学生から高評価が得られたのは、レジюмеやレポートの構成に重点を置き、そのために資料収集法も合わせて学ぶという目的がしっかり共有できたからだと思う。最終レポートでも、構成が非常にしっかりしたものが執筆できていた。

モデルレポート・モデルレジюмеがほしい、インターネットでの資料収集方法だけでなく、図書館での図書検索の方法も知りたいという要望が各1名からあった。次年度はこの点を改善していきたい。

---

<sup>1</sup> 上級日本語演習は冬季集中期間の開講科目である。紀要執筆時期との関係で、2014年度冬季集中期間実施のクラスについて報告する。